

三重県内経済情勢（平成 22 年 10 月の指標から）

県内経済は、足踏み状態となっている（生産は弱含んでいる。個人消費は持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱さがみられる。雇用情勢は依然として厳しい状況の中、改善の動きが弱まっている）。

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 2 か月連続で低下した。【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 27 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 5 か月ぶりに前年同月比減となり、家電販売額（中部 8 県）は 5 か月連続で前年同月比増となった。

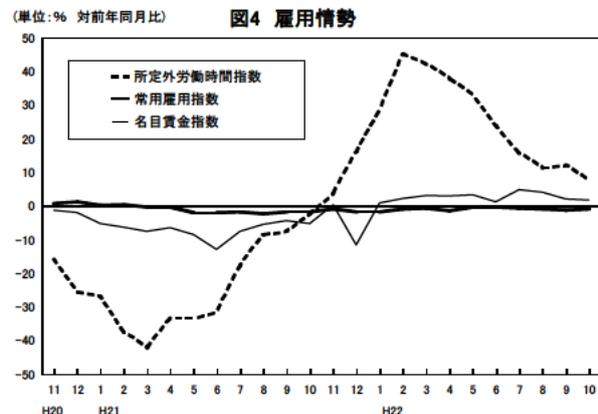
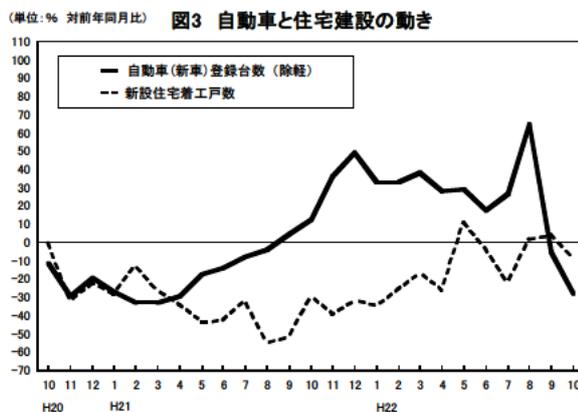
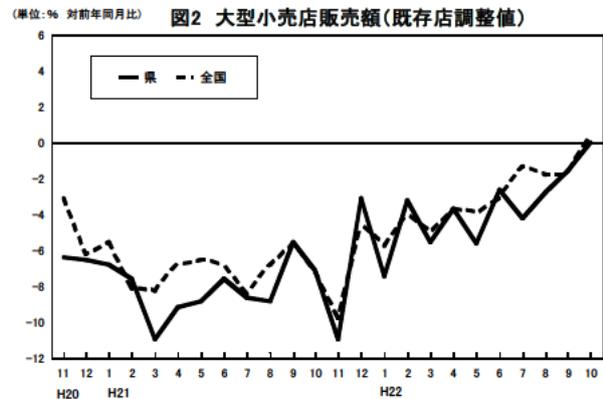
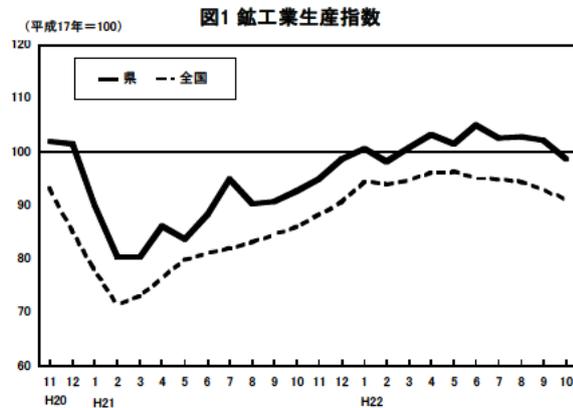
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 2 か月連続で前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数は 11 か月ぶりに前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は 3 か月ぶりに前年同月比減となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.60 倍となり、前月を 0.02 ポイント下回った。

所定外労働時間指数は 12 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 20 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 10 か月連続で前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は 98.6 となり、前月比 3.5%減と 2 か月連続で低下した。
- ・ 県内主要 3 業種では、電気機械工業（旧分類）（128.9）が前月比 0.2%増と 2 か月連続で上昇し、化学工業（95.9）も前月比 10.1%増と 3 か月連続で上昇したものの、輸送機械工業（74.1）は前月比 12.0%減と 2 か月連続で低下した。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は 97.6 で、前月比 2.2%増と 2 か月連続で上昇した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------------|------|------|------|-------|
| 鉱工業生産指数 | -2.4 | 0.2 | -0.5 | -3.5 |
| （電気機械工業：旧分類） | -9.0 | -1.5 | 0.5 | 0.2 |
| （輸送機械工業） | 3.8 | 3.8 | -4.4 | -12.0 |
| （化学工業） | -0.4 | 1.1 | 1.9 | 10.1 |
| 鉱工業生産指数（全国） | -0.2 | -0.5 | -1.6 | -2.0 |
| 鉱工業生産者製品在庫指数 | -3.8 | -3.4 | 1.0 | 2.2 |

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比 0.0%減と 27 か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 5 か月ぶりに前年同月比減となり、家電販売額（中部 8 県）は 5 か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比 27.9%減となり 2 か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比 18.7%減となり 11 か月ぶりに減少した。全自動車では前年同月比 24.7%減と 2 か月連続で減少した。

| （前年同月比：％） | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------------|------|------|------|-------|
| 大型小売店販売額（県内既存店） | -4.2 | -2.8 | -1.6 | -0.0 |
| 〃（全国既存店） | -1.3 | -1.8 | -1.7 | 0.4 |
| コンビニエンスストア販売額（5 県全店） | 3.7 | 3.8 | 19.9 | -4.5 |
| 家電販売額（8 県全店） | 13.6 | 18.3 | 20.8 | 57.1 |
| 自動車（新車）登録台数（県内） | 26.9 | 64.5 | -5.7 | -27.9 |
| 〃（全国） | 15.0 | 46.7 | -4.1 | -26.7 |
| 軽自動車（新車）販売台数（県内） | 8.4 | 24.5 | 5.5 | -18.7 |
| 〃（全国） | 8.6 | 21.7 | 4.6 | -16.2 |
| 自動車・軽自動車 合計（県内） | 19.9 | 48.1 | -1.7 | -24.7 |
| 〃（全国） | 12.9 | 37.7 | -1.2 | -23.2 |

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は 933 戸となり、前年同月比 8.9%減と 3 か月ぶりに減少した。

| （前年同月比：％） | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 新設住宅着工戸数 | -22.5 | 1.8 | 4.4 | -8.9 |
| （参考）（持家） | 2.2 | 7.5 | 17.5 | 8.7 |
| （貸家） | -53.5 | -12.0 | -36.9 | -41.3 |
| （分譲住宅） | -16.2 | -7.5 | 122.0 | 67.6 |

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は113億8千6百万円となり、前年同月比7.2%減と2か月ぶりに減少した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は31億6百万円となり前年同月比18.5%増と4か月ぶりに増加し、「地方の機関」からの受注工事額は82億7千9百万円となり前年同月比14.2%減と5か月ぶりに減少した。

| （前年同月比：％） | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 受注工事総数（県内） | 31.7 | -6.3 | 14.4 | -7.2 |
| 国の機関 | -19.6 | -71.5 | -44.8 | 18.5 |
| 地方の機関 | 67.2 | 17.8 | 81.4 | -14.2 |
| 受注工事総数（全国） | -15.0 | -1.9 | -14.7 | -22.9 |

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.60倍となり、前月を0.02ポイント下回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比7.6%増となり、12か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は前年同月比0.9%減となり、20か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比1.8%増となり、10か月連続で上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は5.1%で、前月に比べ0.1ポイント上昇した。

| （※前年同月比：％） | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------------------|------------|------|------|------|
| 有効求人倍率（三重県、倍） | 0.59 | 0.60 | 0.62 | 0.60 |
| "（全国、倍） | 0.53 | 0.54 | 0.55 | 0.56 |
| 所定外労働時間指数※ | 15.5 | 11.4 | 12.0 | 7.6 |
| 常用雇用指数※ | -0.6 | -0.9 | -1.2 | -0.9 |
| 名目賃金指数※ | 4.9 | 4.1 | 2.2 | 1.8 |
| 完全失業率（全国） | 5.2 | 5.1 | 5.0 | 5.1 |
| （参考）完全失業率（三重県：推計値） | 4.2（7～9月期） | | | — |

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は10件発生した。負債総額は27億4千万円（前年同月比41.4%増）となり、2か月ぶりに前年同月比増となった。

| （※％：前年同月比） | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|------------|-------|-----|------|------|
| 企業倒産件数（件） | 15 | 8 | 16 | 10 |
| 負債総額（％）※ | 409.1 | 0.7 | -6.5 | 41.4 |

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は101.5で、前月比は0.4%上昇、前年同月比では0.5%上昇した。

| （前月比、※前年同月比：％） | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------|------|------|------|-----|
| 消費者物価指数（4市平均） | -0.6 | 0.5 | 0.1 | 0.4 |
| " ※ | -0.4 | -0.5 | -0.5 | 0.5 |
| "（全国） | -0.5 | 0.3 | 0.3 | 0.4 |

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 63.1 となり、前月と比較して 4.7 ポイント下降した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。ただし、一致指数の 3 か月後方移動平均の前月差が 2 か月連続でマイナスとなるなど、足踏みの動きもみられる。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 3 か月連続で上回り、57.1%となった。

| (※前月差：ポイント) | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------------|------|------|------|------|
| CI一致指数 ※ | -1.9 | 0.9 | 0.5 | -4.7 |
| 3か月後方移動平均※ | -0.5 | 0.6 | -0.2 | -1.1 |
| 7か月後方移動平均※ | 1.1 | 0.3 | 0.2 | -0.2 |
| DI一致指数 (%) | 28.6 | 71.4 | 57.1 | 57.1 |

- 先行指数（10 月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 91.7 となり、前月と比較して 5.8 ポイント下降した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 2 か月ぶりに上回り、83.3%となった。

| (※前月差：ポイント) | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------------|------|------|------|------|
| CI先行指数 ※ | 5.4 | 14.8 | -6.8 | -5.8 |
| 3か月後方移動平均※ | 2.5 | 6.2 | 4.5 | 0.8 |
| 7か月後方移動平均※ | -0.8 | 2.6 | 2.1 | 0.6 |
| DI先行指数 (%) | 66.7 | 83.3 | 50.0 | 83.3 |

